

広 報



きかい

No. 522

12

平成 22 年
(2010 年)



the most beautiful
villages
in japan

喜界町は「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。

- P 2 第45回島内一周駅伝競走大会
- P 4 さとうきび生産振興大会
- P 5 新連載 おいしいたのしい喜界島①
- P 6 喜界高校創立記念講演会・第3回喜高塾
- P 7 朝崎郁恵ライブのお知らせ
- P 8 シマの話題その1(文化の日フェスタ 他)
- P 14 シマの話題その2(フュンミーとムッチームライ)
- P 15 喜界歌壇・戸籍の窓
- P 16 島に咲く花

明日につなげよう シマの伝統文化



中里マーターテーバー



池治八月踊り(忠臣蔵)



島中女棒踊り



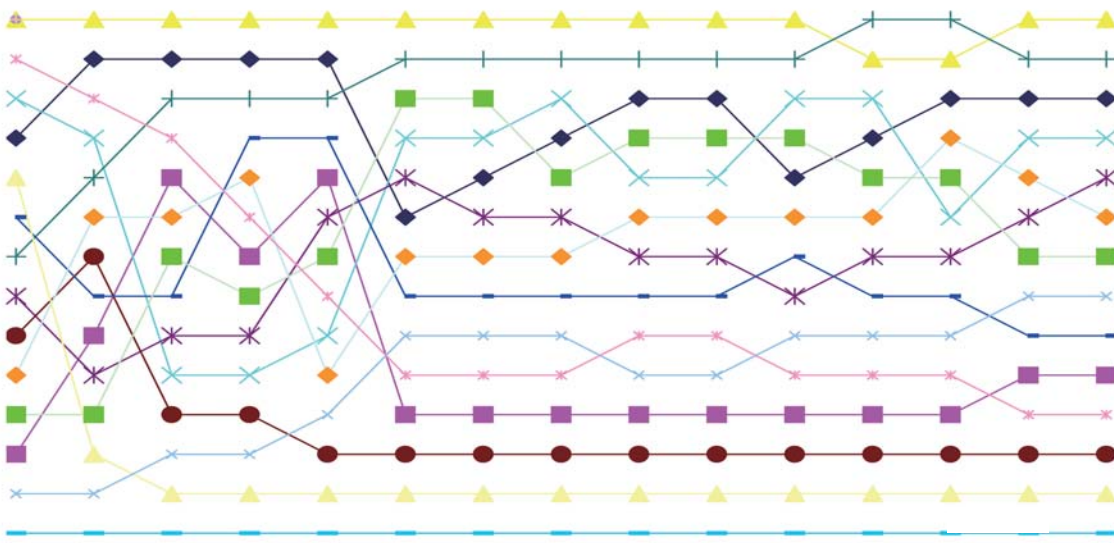
赤連なぎなた踊り

表紙説明

文化の日フェスタが開催され、普段は見る機会が少ない各集落独自の
伝統文化に多くの町民が触れ、楽しんでいた。(6ページに詳細記事)

第45回島内一周駅伝競走大会

1区 2区 3区 4区 5区 6区 7区 8区 9区 10区 11区 12区 13区 14区 15区



- ▲ 赤連池治
- ⊕ 上嘉鉄A
- ◆ 湾体協A
- ⊗ 中里連合
- ✱ 荒木A
- ◇ 早町
- 志佐
- ⊕ 坂嶺
- ◆ 上嘉鉄B
- 湾体協B
- ✱ 滝川
- 荒木B
- ▲ 小野津
- ⊕ 阿伝

【区間賞】

※ 5区・6区は区間距離変更による区間新記録

1区	界 眞子	4分24秒	赤連・池治
2区	岩川 武蔵	9分20秒	赤連・池治
3区	西野 亜紀	5分55秒	志佐
4区	遠藤 浩文	6分19秒	赤連・池治
5区	築 彩香	5分56秒	中里連合 新
6区	積山 寿久	13分34秒	坂嶺 新
7区	吉沢 凜太郎	6分44秒	湾体協A
8区	廣 和樹	7分26秒	上嘉鉄A
9区	龍田 優斗	8分47秒	湾体協A 新
10区	岩川 将武	5分10秒	赤連・池治
11区	野間 弘也	10分52秒	中里連合
12区	岩崎 雄	11分42秒	荒木A
13区	大山 仁美	3分31秒	早町
14区	八木 敏文	9分50秒	赤連・池治
15区	田中 三男	5分51秒	赤連・池治 新

【総合の部】

優勝	赤連・池治	2時間01分17秒
2位	上嘉鉄A	2時間02分11秒
3位	湾A	2時間05分20秒
4位	中里連合	2時間06分45秒
5位	荒木A	2時間07分30秒
6位	早町	2時間08分00秒
7位	志佐	2時間08分57秒
8位	坂嶺	2時間10分21秒
9位	上嘉鉄B	2時間11分15秒
10位	湾B	2時間14分12秒
11位	滝川	2時間14分18秒
12位	荒木B	2時間19分15秒
13位	小野津	2時間24分40秒
14位	阿伝	2時間34分19秒

島内一周駅伝競走大会の記録

過去10年の優勝チーム

H13	上嘉鉄A	1時間57分05秒
H14	上嘉鉄A	1時間56分08秒
H15	赤連・池治	1時間56分59秒
H16	上嘉鉄A	1時間55分54秒
H17	赤連・池治	1時間55分30秒
H18	上嘉鉄A	1時間58分52秒
H19	上嘉鉄A	1時間58分53秒
H20	上嘉鉄A	1時間58分53秒
H21	赤連・池治	2時間01分29秒
H22	赤連・池治	2時間01分17秒

※ 湾Bは現在の赤連・池治、平成18・22年度は距離変更のため新記録

平成以降の優勝回数

赤連・池治 (以前の赤連、湾Bを含む)	8回
上嘉鉄	6回
湾C (現在の中里連合)	4回
湾 (以前の湾、湾A)	2回
早町	2回

【Bクラスの部】

優勝	荒木A	2時間07分30秒
----	-----	-----------

【Aクラス】

湾A、赤連・池治、中里連合、志佐、上嘉鉄A

【Bクラス】

湾B、荒木B、上嘉鉄B、阿伝、早町、荒木A、小野津、坂嶺、滝川

今期収量は9万2千5百トンを予想 工場搬入開始は12月13日の見込み

平成22年度さとうきび生産振興大会開催



大会には多くの農家が参加した

製糖期を控えた11月25日、平成22年度喜界町さとうきび生産振興大会（奄美群島糖業振興会、町さとうきび生産対策協議会、町糖業振興会で共催）が自然休養村管理センターであった。

あいさつで嶺禎一郎町糖業振興会副会長（JAあまみ喜界事業本部専務理事）は「夏植が終わり、自然災害も干ばつも少なく、豊作が期待される収穫に向けて胸を躍らせていることと存じます。本日は今の情勢や経営安定対策やきび共済など、各分野での報告や説明がありますので、皆さんの営農に有効に取り入れていただくようお願いいたします」と話した。

来賓あいさつで平田勝造生和糖業(株)代表取締役社長は「前期

に比べ国からの会社への交付金が大幅に引き下げられ、昨期並みの収量であれば大赤字になるところであったが、今期は天候に恵まれ、皆さんのご努力もあり、9万ト超で安心している。さとうきびは生産額の4倍もの経済効果があり、島にとって重要な産業。このほど「日本で最も美しい村」連合にサポーター会員として加入した。環境や自然に配慮しながら、農家と一心同体となり、当社の役割を確実に実行していきます」と話した。

さとうきび情勢報告では、上蘭俊弘県大島支庁農林水産部長が『さとうきびを巡る情勢』と題し、国が平成17年に策定した基本方針「大規模経営体や農作業受委託組織等の育成、機械化一環体系と地力の増進対策の推進、病害虫防除対策と優良品種の普及が示されており、喜界島では平成27年度には最低でも8万1千ト規模を確保が目標設定されている」などを報告。他に、今期の他島の作況、導入されれば国内農業への深刻な影響が確実なTPPについての説明があった。

水主隆志県農業共済組合連合会農産課長は、『さとうきび共済加入の推進について』と題し、「きび共済加入率は徳之島36・8%、沖永良部島84・2%など

の他と比べて、喜界島は6・6%と極端に低い」との現状を示し、「この共済は、発芽期から収穫期まであらゆる自然災害や干ばつ、病害虫の被害などに対応し、糖度低下も含めて基準収穫量の2割を超える減収や一筆全損耕地への補償もある。掛金の55%は国が負担する共済制度にぜひ加入してください」と訴えた。

田中康之町さとうきび生産対策協議会副会長（生和糖業(株)専務取締役工場長）からは『さとうきび操業計画報告（平成22/23年産）』があり、

・今期の収量予想は9万2千5百ト（うち黒糖などを除く工場搬入量は9万1千ト）
・刈り取り開始は12月11日



嘉津会長の発声でがんばろう三唱

・庄搾開始は12月13日
・年末年始休みは12月30日～1月3日
・洗缶日は1月31日、3月10日
・製糖終了日は4月5日予定（コスト削減の一環として一日の処理能力を850トから900トに引き上げ、操業日数を短縮）
などと報告した。また、「数日刈り置きされたさとうきびは品質低下を招き、農家と会社双方にデメリットがある」ため、「計画通りの刈り取りを」と呼びかけた。

最後に、嘉津正丸町認定・担い手農家連絡協議会会長の「より良いさとうきび作りで厳しい状況を乗り切ろう」との発声による、全体でのがんばろう三唱で閉会した。

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）

交渉の中断や決裂が続くWTO（ドーハ・ラウンド）や、主に2国間での自由貿易を行いながら農産物などを保護品目として指定できるFTAと違い、加盟国はすべての品目で関税を撤廃し、国境を越えて、ヒト、モノ、カネの移動を自由にする協定。

政府やマスコミ、都市部の世論などは、早急に加盟すべき、との意見が多い。

喜界高校創立記念講演会・喜高塾開催

榊原英雄氏（普通科昭和30年卒）が『卒業後の人生設計について』で講演

県立喜界高等学校（藤崎健一 校長、生徒数225人）は11月5日、創立記念講演会と第3回喜高塾を同校体育館などで行った。

講演会の講師は、昭和30年に同校を卒業した池治出身で川崎市在住の榊原英雄氏。同氏は、『卒業後の人生設計について』の演題で、全校生徒に熱く語りかけた。

榊原氏は初めに、生徒会長として原水爆禁止運動をし、署名募金活動に取り組んだ高校時代を自己紹介代わりに披露し、「学校で教わることの一部しか人生



後輩らを教え励ました榊原氏

では役に立たない。卒業して30才までが頭脳をみがく一番の時期。職場や大学でいかに自分の価値を付けていくか、他人と同じようにするのはなく、社会にある数え切れない学ぶ機会から、自分にあつたものを修得し、資質を高める努力をして欲しい」などと話し、働こうえでの心構えとして、「あいさつが人間関係の基本。上司や先輩との間には厳しさがあつたが、自分から接していくようにすれば、必ず円滑になる。また、きちんと背広を着ていても、必ず足元は見られる。汚れた靴では台無しになるので、社会人としてつま先までの身だしなみが大切である」と話した。

こんな話をしよう。先生にこんな質問をしよう」と積極的に行動すれば、その日は楽しくなる。人生においても失敗を恐れず、何才まで何をしたいかの計画を立て、自ら設計図を書こう」と語りかけた。

最後に榊原氏は、江戸後期に歴史家、思想家、漢詩人などとして活躍した頼山陽の漢詩『述懐』を紹介して講演を終えた。

* * *

講演会後は喜高塾があり、5人の先輩がそれぞれのテーマで後輩達に語りかけた。

喜久秀人氏（3年生講師）

『人生は面白い』

英良治氏（普通科2年講師）

『変わったたなあ 善くなつたなあ』を実感して』

栄和子氏（商業科2年講師）

『私の選んだ道』

恵藤和教（普通科1年講師）

『故郷のよさをバネに21世紀に羽ばたけ』

澄田直敏（商業科1年講師）

『喜界島ってどんなところ？』

校がつらい時も、『今日は誰と

喜界島方言調査団リレーエッセー 喜界島の方言を残そう②

新永 悠人氏（東京大学大学院）

わたしは普段、お隣の奄美大島の宇検村（湯湾集落）の方言を調査しております。村の小学校にいらした先生が喜界島出身の方ということもあり、喜界島にはいつか訪れたいと思っていたところ、今回喜界島方言調査団に参加する機会をいただき、思いがけず喜界島に来ることができました。山がちで、森深い雰囲気のある大島に比べ、喜界島はなだらかで、日差しが明るい感じがするのが印象的でした。

今回の喜界島の調査では、わたしの所属する「文法班」では小野津、志戸桶、上嘉鉄、荒木、中里の5か所をまわらせていただきました。いずれの地域でも、みなさん非常に丁寧に、熱心に教えてくださり、時にはこちらの書き取るスピードが間に合わないこともあるほどでした。

西海岸に立てば、遠くにその姿が見られるほどの距離にある喜界島と奄美大島ですが、様々な点で似ているところもあれば、違ふところもあり、大変興味深いものでした。調



小野津での調査の様子

子どもに伝えよう！

“島じゅうり”

おいしいたのしい 喜界島

広報きかい版① 不定期連載

年の瀬になると、島はさとうきびの収穫に忙しくなり、さらには餅つきやシメ縄（シマユミタでオーバイ）づくりなど、正月の準備も控えています。

そして大みそか（年の晩）を迎えると、各家庭でヒルイッチャーシーをつくり、年越しをしたのです。

年の瀬の頃

ヒルイッチャーシー

（葉ニンニクと豚肉の炒め物）



（一人分307kcal・塩分1.8g）

★材料（4人分）

◇豚バラ肉	150g	◇塩	少々
◇にんじん	2本	◇焼酎	15cc
◇島豆腐	300g	◇島ザラメ	少々
◇にんにく(ヒル)	150g	◇濃口醤油	15cc
◇油	大さじ1	◇薄口醤油	15cc
		◇みりん	15cc

□島ではニンニクの葉を、ヒル（フィル）と呼び、昔は各家庭で栽培していた。シマニンニクは、あまり市販されてない。

□豚肉はスライスでもよい。

□豆腐は揚豆腐でもよい。

★つくり方



①



②

①肉を適当に切り、臭いが気になる場合は、熱湯で軽くゆでる。

②ヒルは4cm程度に切り、葉と白い茎に分ける。にんじんは短冊切りか拍子切り。

③フライパンを熱して油をひく。強火で豚肉を炒め、肉の色が変わったら塩をふり、にんじんを入れて、さらに炒める。

④にんにくに火が通ったら、ヒルの白い茎を入れて炒める。次に焼酎を入れ、アルコール分を飛ばしながら炒める。



③



④



⑤



⑥

⑤島豆腐を手でちぎって入れる。弱火にして ④を入れる。

⑥ヒルの葉を入れ、強火でさっと炒める。十分に混ぜ合わさったら火を止める。

※緑の鮮やかさを残すため、炒めすぎない。

皿に移して完成（左上写真）。

「さあ、召しあがれ（とー、みそーりヨ）」

※ここで紹介した分量・つくり方は、一般的なものです。各家庭（おふくろの味）、各集落（ふるさとの味）に調整してください。

ニンニク 豆知識

在来ニンニク（シマニンニク）は、島では冬に欠かせない食材。秋に庭の畑（アタイ）に種（球根）を植え、寒くなると収穫できます。以前はどの家にも、高倉や倉庫に、ニンニクの種がぶら下がっていました。



阿母のしま

あんま

コンサート

12月22日(水)

開場 18:00 開演 19:00

会場 喜界町体育館

出演 朝崎郁恵(島唄) 向島ゆり子(violin) 吉川典子(piano) 新原恭子(三線・はやし) dokidoki 川畑さおり 安田博樹 喜界島うるまエイサー 他



朝崎郁恵

1935年、奄美・加計呂麻(カケロマ)島生まれ。奄美諸島で古くから唄い継がれてきた奄美島唄の唄者(ウタシヤ)。喜界島、中間出身の祖母・マツ、城久出身の父・辰怒(たつじよ)の影響を受け、天性の素質を磨き、10代にして天才唄者として活躍。

ニューヨーク、ロサンゼルス、キューバなどの海外公演を始め、国内でも国立劇場10年連続公演等、数々の大舞台を踏む。

2009年にはNHK大河ドラマ「篤姫」の作曲家・吉俣良の作曲による、初の標準日本語(作詞 UA)オリジナル曲「阿母(あんま)」をフィーチャーしたマキシを発売。

千年、あるいはそれ以上前からとも言われる奄美島唄の伝統を守りながら、彼女をリスペクトする坂本龍一、UA、ゴンチチ、上妻宏光、姫神など数多くのアーティストとも共演。近年は、ピアノのみならず世界中の様々な民族楽器でも島唄を歌い、その魂を揺さぶる深い声量は、世代や人種を超えて多くの人々に感動と元氣とあわせを届け続けている。

前売 2,000円

当日 2,500円

小中高校生(前売・当日)1,000円



dokidoki

プレイガイド

ショッピングセンターふくり / A コープ喜界店
アイショップ喜界店 / 喜界島おみやげセンター
上田写真館 / 米盛ストア(早町) / サバニ

チケット絶賛発売中!!

奄美ゆいセンター会員は割引があります。

申込みは65-0930サバニまで



向島ゆり子



吉川典子

and more



後援 喜界町 / 喜界町教育委員会 / 喜界町青年連絡協議会 協力 (財)奄美広域中小企業勤労者福祉サービスセンター

お問い合わせ “ファンキーステーション サバニ” 0997-65-0930 <http://www.office-sabani.com>

触れる機会が少ない他集落の伝統文化を楽しむ

「文化の日」フェスタ

鹿児島市がおほら祭でにぎわった11月3日、町教育委員会は、普段は接する機会が少ない他集落の八月踊りなどの伝統文化を広く町民に披露する目的で、「文化の日」フェスタを役場コミュニケーションホールで開催した。

演目披露の前に、松永幸二上嘉鉄小学校校長が『シマの文化に触れて』と題して講話し、『気候風土、生活習慣、先祖を敬う心』などから生まれた伝統文化は、人を育てる教育そのもの』と話し、老若男女が参加するシマ遊びや上嘉鉄盆踊りに参加した際に詠んだ「踊りの輪いつも先頭八十路人」の歌を披露しながら、「子ども



城久の八月踊り『忠臣蔵』

が自然な形で伝統文化を受け継ぐ光景に感動した。文化は先人の『教え』『願い』であるので、絶やすことなく未来へ伝えることが大切』などと語りかけた。

また、昭和57年の町民体育祭で披露された「荒木棒踊り」のDVDも放映された。

演目披露は、町田日出雄さんらによる島唄『朝花』で幕を開け、島中（男女別）・荒木それぞれに伝わる「棒踊り」や県代表として全国大会に出場した喜高生と町なぎなた連盟による「なぎなた演技」、新極真空手全国チャンピオン藤山茂樹さんの迫力ある空手演武やチビッコ空手家によるかわいらしい演武などの他、黒田美奈子さん（湾）によるユーモアたっぷりの「シマユミタ語り」もあった。

また、以前は豊かな田が広がっていた上嘉鉄東による『ソーバン踊り』（ソーバンとは穀物を量る容器）や池治に伝わる八月踊り『忠臣蔵』の遠くを見やるような独特の振付、その『忠臣蔵』を約80年前に池治から伝えられた城久の振付との違いなどに歓声が上がった。



『稲すり節』に乗せてソーバン踊り（上東）

た。

さらに、大正初期に赤連に住む種子島出身者から赤連女子青年団に伝えられたという『なぎなた踊り』に再現される「父の仇討ちを5年越しに果たした姉妹」の姿を描いた勇壮な踊りに、観客は見入っていた。

終盤には、今では中里や川嶺だけに残る、八月踊りの前にその場を清めるための儀式『マータターバー』を、中里集落民が古式床しく厳かに披露した。最後に、10月に東京であった民間舞全国大会で優秀賞に輝いた川畑さおりさんが受賞曲『いまぬかざくも』と『わたしゃ』を唄い、全員参加の『六調』で終了した。

戦没者の御霊に哀悼の誠を献げる

喜界町戦没者追悼式

町は、前の大戦にかかる戦没者追悼式を11月9日、自然休養村管理センターで開催した。

式辞で加藤啓雄町長は「悲惨な前の大戦において、無念にも散華された戦没者のご加護で今の平和と繁栄があります。今後も島の発展と世界平和に貢献できるようお誓い申し上げ、戦没者の御霊が安からんことと、ご遺族のご健康とご多幸を祈念します」と述べた。

追悼のことばを、中島智一町議会議長や渡辺典彦自衛隊喜界島通信所長が述べ、生禎蔵町遺族会会長は「あの悲惨な大戦から65年が過ぎ、今は戦後生まれが国民の8割を占めています。戦争が風化されず、英霊の『御心』を無にしないよう、力強く人類の恒久平和と繁栄に寄与し努力する



戦没者に哀悼の誠をささげる加藤町長

ことを誓います」と述べた。長岡茂治さんの献詠が、参加者との間で式を捧げられた。

運動会で集落の親睦はかる

第9回赤連集落運動会

赤連集落（愛島盛蔵区長）は11月21日、集落運動会を赤連グランド（県喜界事務所そば）で盛大に挙行した。

あいさつで愛島区長は「昨夜までの雨も上がり、この日を祝福するかのような陽気となりました。島内一周駅伝優勝の勢いそのままに、一生懸命ゆっくり楽

しく競技しよう」と話した。

1号から9号までの各号と集落内に多い公務員住宅ごとに分かれた4チームは、それぞれ勝利を目指して、15競技に心地よい汗を流した。

結婚を機に他集落から引っ越して来たというある女性は「今回初めて参加した。あいさつ程



役場職員有志 13人と 社協職員 2人が 奄美災害復旧に参加

役場職員でつくる職員組合の組合員ら13人は11月2日から6日まで、同組合が加盟する自治労大島地区本部の呼びかけに応じてボランティア休暇を取り、2班に分かれて10月20日にあった奄美豪雨災害で、深刻な被害を受けた奄美市や龍郷町での復旧作業に参加した。組合員らは、龍郷町の戸口漁港や奄美市の小湊漁港に集められた被災宅から出た可燃物や不燃物の分別や奄美市名瀬勝での被災者宅から使えなくなった家財道具を搬出、奄美市住用町各集落での要望

事項の聞き取り調査などに従事した。奄美市災害担当職員は「自治体職員だけあり、簡単な説明でしっかりと動いてくれ、被災者から要望事項も的確に報告してくれた」と感謝した。参加した組合員のひとり「役場で防災担当をしているので、被災地の状況や現地スタッフの取り組みを目



分別作業の様子

の当たりにし、不謹慎かもしれないが参考になった。とはいえ、この経験が喜界島で生かされないことを願う」と話し、「多くの奄美市職員が、自宅の被害は後回しで、泊まり込みの対応に当たっている。心身の健康が心配」と付け加えた。また、町社会福祉協議会職員の大友勝仁さんと益寿幸さんも11月

2日から6日まで、被災宅からの土砂除去作業や奄美市社協が中心となつて運営するボランティアセンターでのボランティア希望者受付や被災者の要望受付、ボランティア保険の加入手続きなどに従事した。大友さんは「数日経っても依然として生々しい災害のツメ跡に驚き、終わりのない単調な重い作業に熱心に取り組むボランティアの方々に頭が下がった」と振り返った。



青空の下、準備運動する赤連選手たち

度だった近所の方とも親しく話げてきたので、来年の10回記念大会もぜひ参加したい」と話した。

少年期を過ごしたゆかりの地に 安達征一郎文学碑を建立

多感な7歳から15歳までの少年期を赤連で過ごし、第71回、81回の直木賞候補にもなった作家、安達征一郎氏の業績を讃える文学碑がこのほど、同氏の住居があった県道臨港道路（赤連海岸通り）脇の町有地（旧商工会向かい）に建立され、その除幕式が11月28日、同地であった。

文学碑建立委員会の西島昭雄委員長は、あいさつで記念碑建立の経緯を説明しながら、「記念碑建立は安達先生の偉業を讃えるとともに、愛する島に文学の灯が燃えるきっかけになることを祈念する」と、関係者への感謝も交えながら話した。

つづいて、西島委員長や来賓、関係者らによる除幕や、近親者や赤連児童らによる献花、安里梨央さん（一中3年）による作品朗読があった。

最後に安達氏は「皆様のご尽力で立派な文学碑を建てていただき、心から感謝申し上げます。当時とは赤連通りの風景も変わってしまったが、空と海の色はそのまま。ここが小説家への道を開いてくれました。これを励みに、今後もっと喜界島のことを書こうと思います」とお礼の言葉を述べた。



感謝を述べる安達氏（右）

10月31日に、関西早町校区会（澤会長）総会・敬老会が、大阪大正区の沖縄会館で盛大に開催されました。

澤会長の乾杯に始まり、2部の民謡では小学生の兄弟（島3世）が「イクンニヤカナ」を見事な歌声で披露してくれました。歌謡の方では、嘉鈍出身の方が「喜界の海」（志戸桶出身の歌手、吉野光さんの歌）を歌われ、島への想いが伝わってきました。

4時間の懇親会では、酒も入り、あちこちで島ユミタが聞こえました。最後には六調でフラフラになるまで踊っていました。特に女性の踊りは見事でした。

来年は30周年記念・イベントとなりますので、より多くの方々に早町校区の会があることを知っていただき、盛大に行えるよう頑張ってくださいと考えております。ここに、「関西早町校区会」をますます発展されることを申し上げます。報告：関西早町校区・基井



島唄を唄う喜界島三世姉弟

関西早町校区会総会・敬老会を開催しました
（関西早町校区青年部・報告）

教育委員会のこびら

本物の演奏家が

やってきた

芸術鑑賞会

(離島学校公演)

11月18日・19日の両日、標記鑑賞会が湾小学校と上嘉鉄小学校で行われ、普段触れる機会の少ない生の楽器演奏を聴こうと多くの児童・保護者等が詰めかけました。



音楽のすばらしさを体験し、進んで音楽活動に取り組む意欲が高まりました。



津軽三味線に触れ、演奏家から直接、指導を受ける上嘉鉄の幼稚園児

〈児童からのお礼の言葉〉

津軽三味線、バイオリン、ピアノと素敵な演奏を聴かせていただき、本当にありがとうございました。

私は、幼稚園の年長組の時から三味線と島唄を習い始めたので、特に津軽三味線に興味を持って聴いていました。聴いていて、三味線の音や形は少し違うんだなあと思いました。みんなに聴いて欲しいという気持ちは同じだと思いました。

津軽三味線と三線の共通点や相違点を感じられて、とても良い機会をいただいたと思います。本当にありがとうございます。では、最後にお礼の意味を込めて「喜界やよい島」を全校児童で歌います。この歌は私の師匠でもある安田宝英先生が作詩・作曲した曲で、喜界島では

小さい子からお年寄りまでよく歌っている歌です。今回は私たち、三線を弾ける子どもたちで演奏します。今日に向けて練習してきたので、どうぞお聞きください。

遠くからこの喜界島に来ていただき、本当にありがとうございました。

児童代表 6年 界 眞子

家庭学習の習慣化について 意見交換！

平成22年度喜界町教育委員会 委員委嘱PTA活動研究 公開

11月21日に喜界町立早町小学校体育館で保護者・学校関係者・教育関係者150名が集まり、標記公開が開催されました。

ここ数年、「子どもに家庭学習の習慣を身につけさせるためには、学校・家庭の連携や取り組みはどうすればよいか。」を研究主題に設定し、今回、事例発表を行った早町小PTAから「約束(研修部)・読書(生活指導部)・食育(保体環境部)」の3つを中心に取組が紹介されました。

また、講演会では奄美市名瀬在住の保護司、堀之内香織氏を

講師に招き、「子どもの心に希望の光を」と題し、本人の体験談を交えながら、私たち大人がかける一言によって大きな希望を与えることの大切さをお話しいただきました。

学校へ行こう！

「地域が育む『かごしまの教育』 県民週間」

11月1日(月)から7日(日)

まで各幼稚園・小学校・中学校で「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」の一環として様々な取組が行われました。どの学校も創意・工夫がなされた行事を企画するなど、日ごろの教育活動の一端を公開しました。

小規模校は、地域と一体となった学習発表会や文化祭を行いました。子どもたちも、たくさん声援を前にいつも以上にはりきって活動していました。

また、体育館の特設ブースには、子どもたちの作品はもちろんのこと地域の方々の作品も多数展示され、たくさんの方々の目を引いていました。

湾小学校では、グループに分かれての総合的な学習の時間の発表や全体合唱など学校の規模を生かした取組が行われていました。

中学校では、自分の夢を熱く



志戸桶小 「志戸桶フェスタ」



第二中 「劇『浦富物語』」

語る弁論大会、見る者の心を温かくする劇、聴く者の心を癒す合唱など中学生ならではの様々な発表が行われました。

この一週間で、たくさんの方々の温かい応援を受けて、きつと各幼稚園・小学校・中学校の子どもたちは、たくさんの元気とやる気をもらったことでしょう。参観ありがとうございました。



すこやかニューズ

すこやかセンター (☎65-3522)

県では、低線量CTによる肺がん検診費用の一部助成をおこなっています！

肺がんによる死亡は、本県のがんによる死因の第1位で、増える傾向にあります。そのため、県では、肺がんの早期発見に有効とされている、低線量CTによる肺がん検診を、多くの方に受診していただくよう、検診費用の一部を助成しています。

- 【対象】**
 - 県内に住所を有する50歳以上の方
 - ※肺がん治療中や治療後、精密検査目的の方を除きます
- 【検診費用】**
 - 2,550円(通常の検診の3割以下の値段です)
- 【受診するには】**
 - 県と契約した検診機関に直接電話で、予約・お問い合わせ下さい。(島内の医療機関は含まれていません)
- 【持っていくもの】**
 - 住所と生年月日が確認できる書類(運転免許証など)

詳しくは、すこやかセンターまでお問い合わせください。

予防しよう！インフルエンザ

★**早めに予防接種を受けましょう**
インフルエンザのワクチン接種は、インフルエンザへの免疫を作るため、かかったとしても重症化をおさえるなどの効果があることがわかっています。ただし、ワクチン接種から免疫ができるまで2週間〜1か月ほどかかりますので、流行シーズン前に接種することが望まれます。



★外出後などは手洗いを

外出後や食事前などにしっかりと手を洗うと、手にインフルエンザウイルスがついていたとしても洗い流すことができます。せっけんを使った後、15〜30秒かけて流水で念入りに洗い、清潔なタオルかペーパータオルでよく拭き取りましょう。

★咳をしている人に近づかない

咳をしている人がいても2メートル離れていれば安全です。

★咳エチケットを守りましょう

咳エチケットは周囲に感染を広げないためのマナーです。咳があるときは必ず守るようにしましょう。

●咳の症状があるときは必ずマスクをしましょう。

●咳の症状があるときは周囲の人からなるべく離れてください。

●マスクがない場合は、咳の際は他の人から顔をそらせ、口と鼻をティッシュなどで覆いましょう。

★マスクを過信しない

使い捨ての「不織布製マスク」が推奨されていますが、マスクは感染を広げない効果はありませんが、予防効果はあまり高くないため、過信しないようにしましょう。

●**かかったかなと思ったら、早めに診断を受けましょう！**
インフルエンザの治療は、感染から2日以内の治療が効果的だとされています。

★療養中の注意

- 処方された薬は最後まで飲みましょう。
- こまめに水分を補給しましょう。
- マスクを着け、咳エチケットを守りましょう。



12月1日は『世界エイズデー』

エイズは世界中で増え続けています。そして先進国の中で、唯一新規感染者が増えているのが日本です。人免疫不全ウイルス(HIV)に感染すると、症状の無い時期が数年から10年以上続き、進行すると病気がたまたかう抵抗力が低下して、本来なら自分の力でおさえることができる病気を発症します。

正しい知識をもち、自分とパートナーのココロとカラダを守りましょう。

感染経路

- * 性行為による感染(粘膜や傷口を通して)
 - * 血液を介しての感染(注射器の使いまわしなど。血液のついたカミソリ等の共用も避けましょう。)
 - * 母子感染(妊娠中や出産時、母乳を介して)
- HIVの感染力は弱く、普通の社会生活(蚊や洋式トイレの便座、食べ物や食器、プールや銭湯など)でうつることはありません。

検査

保健所・医療機関等で検査を受けられます。(医療機関では有料) 保健所では、匿名で原則無料で検査や、相談を受け付けています。

感染の機会から一定の期間内では、ちゃんとした反応がないことがあるので、3ヶ月以上たってから受けましょう。

もし感染していたら...

HIVを完全に取り除くことはできませんが、発症する前に最新の治療薬等の使用を受けると、発症を遅らせたり、他の慢性疾患のように通院で治療を受けたりも可能です。早期発見、早期治療が大切です。



レッドリボンには、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。



心肺呼吸法を身につけよう！

消防署では毎月第4日曜日、午後2時から5時まで普通救命講習を行っています。大切な人の命を救うため、心肺蘇生法を学びませんか？

- ・胸骨圧迫を30回連続して行った後に、人工呼吸を2回行います。
- ・胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ（30:2のサイクル）を、救急隊が駆け付けるまで絶え間なく続けます。



胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す

お問い合わせ先
大島地区消防組合 喜界分署救急係 ☎65-3311

製造事業所の皆さまへ「工業統計調査にご協力ください！」

平成22年工業統計調査を12月31日現在で行います。調査の実施に当たっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。

なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/gaiyo/21jisshi.pdf>

経済産業省・鹿児島県・喜界町

ご存知ですか？災害にあったときの税について

地震、火災、風水害などの災害により住宅や家財などに損害を受けられた方には、次のとおり、納税の期限を延長したり、税負担を軽減する方法があります。

また、災害復旧資金の融資を受けるための納税証明書の手数料は無料になる場合があります。詳しくお知りになりたい方は、最寄りの税務署にお気軽にお尋ねください。

【申告などの期限の延長】

災害などの理由により、期限までに申告や納付ができないときは、税務署長に期限の延長を申請し、承認を受けることにより、その理由の止んだ日から2か月以内の範囲で期限を延長することができます。

【納税の猶予】

災害により損害を受けたため税金を納期限までに納めることができない方は、前述の納期限の延長のほかに、一定の要件の下で納税の猶予を受けられる場合があります（災害の止んだ日から2か月以内に申請することが必要です）。

【所得税の軽減・免除】

災害によって、住宅や家財などに損害を受けたときは、一定要件の下、確定申告で①「所得税法」に定める雑損控除による方法、②「災害減免法」に定める税金の軽減免除による方法、のいずれか有利な方法を選ぶことによって、所得税の全部または一部を軽減することができます。

お問い合わせ先 大島税務署 ☎52-4321

小型合併処理浄化槽設置を希望される方へ

本町では公共下水道や農業集落排水施設とともに生活排水処理のための合併処理浄化槽設置整備事業を実施しています。平成 22 年度の補助枠にまだ余裕がありますので、希望される方は水環境課までご連絡下さい。

また、公共下水道区域、農業集落排水区域の早期接続についてもご理解ご協力をお願いします。

お問い合わせ先 役場水環境課 ☎65-1111 (内75)

年金事務所職員を名乗る詐欺にご注意ください

最近、年金事務所職員を装いご自宅を訪問し、「年金の手続きが終わっていない。ご本人に代わって手続きをするので手数料を支払ってほしい。」などと言い、その場で現金を請求するような事例が報告されております。

年金事務所の職員がご自宅を訪問し、年金手続きの手数料を請求することはありません。

年金事務所の職員を名乗った訪問や電話で不審な点がありましたら、その場で対応することなく、年金事務所へ確認するなど十分にご注意ください。

なお、年金事務所の職員が訪問する際は、身分証明書を携帯しておりますのでご確認願います。

平成 22 年度自衛官等募集案内



募集種目	資格	受付期間	試験科目・期日	待遇・その他
高等工科学校 生徒	平成 23 年 4 月 1 日現在で 15 歳以上 18 歳未満の 男子	平成 22 年 11 月 1 日(月)～	国語・社会 数学・理科 英語の択一式 (マークシート) 作文 (500 文字程度)	・特別職国家公務員 (生徒) ・生徒手当月額 94,900 円
		平成 23 年 1 月 8 日(金)まで (締切日必着)	1 次 平成 23 年 1 月 22 日(土)	期末手当 (6 月・12 月) 年 2 回支給されます

※試験会場：大島支庁会議室 ※受験料無料 ※宿舎は無料で、食事・制服類・寝具については支給または貸与

お問い合わせ先

自衛隊鹿児島地方協力本部奄美大島駐在員事務所

奄美市永田町 17-3 大島支庁別館 2 階 ☎53-9103

喜界町役場総務課 担当：園田 ☎65-1113



お菓子をもらう浦原の子どもたち
集落に響かせ、集落民を喜ばせていた。

先山で参加した模幸正君(上小4年)は「毎年だから方言の歌も練習せずには歌えた。もらったお金は貯金したい」と話し、浦原で参加した叶紗優希(かのう・さゆき)ちゃん(4才)は満面の笑みを浮かべ、「もらったお金でポケモンのDS(ゲーム)を買う!」とうれしそうだった。

ウヤンコーから数えて9日目の11月16日、浦原集落と先山集落の子どもたちはそれぞれ、伝統行事の「もちもらい」をした。

浦原では、同集落に祖父母を持つ小中学生を含めて10人と高校生6人が参加。『もちもらい歌』を歌いながら集落のほぼ全戸をまわり、玄関先で小学校の校歌や童謡を歌って、お菓子やお金などをもらっていた。

同じく先山でも小中学生11人が参加し、元気よく歌声を



玄関で歌う先山の子どもたち

オモチヤを買おうかな? 貯金しようかな? 浦原と先山でフンミー

「フンミー」と「もちもらい」について

島では古くから、ウヤンコー(コウソ祭)から数えて9日目(8日後)の「かのえうま」の日をフンミーまたはフウンミ(冬折目)と呼んだ。この日は各家庭でハサムッチーをつくり、ウヤフジに供え、贈答品にもした。

ハサムッチーは別名で「フチャギ」と呼び、黒砂糖やサツマイモと餅粉でつくられる。粟でつくったのをアワフチャギ、餅米でつくったのをフミフチャギと呼んだ。これらに対し、餅米粉だけを練り固めて蒸したのを真餅(マムチ)と呼んだ。「もちもらい」で使われる真餅には粉を一合を使う約束で、一合餅とも呼ばれた。これらのムッチーは『もちもらい歌』の歌詞にもある(後に説明)。

フンミーの夜は、結婚前の青年男女が「もちもらい」をした。列をなして『もちもらい歌』を歌い、深夜まで各戸をまわって餅をもらった。彼らは農神の使いであり、神

に代わって来年の豊作を約束してまわったのである。その7日後には「ムッチンシク」(餅の節句)があり、もらい集めた餅をソウメンなどといっしょに食べたという。

この行事は現在、(本来の意義や歴史はともかく)子どものイベントとして姿を変えて、中里と浦原、先山に残っている。かつてはほとんどの集落で行われ、上嘉鉄や手久津久、小野津などではシバサシーの夜に行われたという。酒や料理をもらい集めた志戸桶、佐手久の「ヒグルームライ」も同様の行事である。

島以外にも、餅をもらう同様の行事は日本各地に数多くあり、奄美群島や種子島、宮崎県、香川県小豆島、東北地方各地、石川県能登半島の一部などでみられる。いずれも青年や子どもたちは、神の使者として集落内の家々をまわるという。

「もちもらい歌」について

ここで、中里に伝わる歌詞を紹介する。

歌詞(中里編)

一番 粟ふちやぎ給れ

米ふちやぎ給れよ

給ぶるはずならあ

真餅給れ

二番 今年せは変てい

あちさくぬ まりていよ

あちさくぬ 祝

祝ていうえーしら

三番 有難どうやよおろお

感謝あらどう やよりよ

来年ぬ稲がらし 畔枕

一番は道すがら、二番はジョングチーで、三番はもらった後で歌う。また、男女で曲調が異なる。女歌はやさしい旋律で、男歌は勢いがあって各番の間には「ハランドンセンセコライツサンセー」と相の手がはいる。

集落により歌詞が多少異なるが、二番は特に差異がある。また、五番までであるが、現在は三番までしか歌われない。

「あちさく(秋作)」は秋に収

穫する穀物で、ここでは稲を指す。「えにがらし」は稲作のこと。「まりてい」は「盛り上がった」の意味で、ここでは「豊作」をあらわす。畔枕(あぶしまくら)とは、豊作で重くなった稲穂が田の畦(あぜ)に届くほどに垂れ下がった様子。沖縄北部では「アブーシマクラ」と呼び、「豊作」を意味する。

標準語訳(意訳)

一番 粟餅をください。米餅をください。くれるなら真餅(前で説明)をください。

二番 今年には稲が豊作でした。お祝いをして、(ムッチーをウヤフジに)供えます。

三番 ありがたいことです。感謝します。来年も稲穂が畔(あぜ)に届くほど、豊作となることを約束しましょう。

参考文献 『喜界島の民俗』 竹内譲著 『中里言葉の不思議(ナートウユミタのウトウマラサ)』

賀村幸之助著 『中里言葉の不思議(ナートウユミタのウトウマラサ)』

賀村幸之助著 『中里言葉の不思議(ナートウユミタのウトウマラサ)』

賀村幸之助著 『中里言葉の不思議(ナートウユミタのウトウマラサ)』

賀村幸之助著 『中里言葉の不思議(ナートウユミタのウトウマラサ)』

賀村幸之助著 『中里言葉の不思議(ナートウユミタのウトウマラサ)』

賀村幸之助著 『中里言葉の不思議(ナートウユミタのウトウマラサ)』

喜界歌壇

〈ミーニシ会〉

箴の音絶えて久しき島の道
外灯ひとつ静寂にともる

嶺倉 祝子

夜も更けて帰途を急げば家並も
灯火もまばら哀感そそる

林 蓮香

庭隅に人知れず咲く月下美人
萎れしを手に暫し一人言

有村 道子

燈籠の灯火点り虫すだき
萩吹く風に秋深みゆく

平尾 チヨ

嵐吹き風と共に去り逝きぬ
短歌心眉目麗し友は

弥島 幸子

〈萌葉会〉

秋の野辺友とドライブ花めぐり
珍種の花に携帯パチリ

平島 初子

懐かしや還暦の友総総に
ハナサホーラサ語らい尽きぬ

前田喜代美

しみじみとふるさと恋ある同窓会
白髪面じわ寄せ合い和み

豊島 瞳

思習ふ木目込み人形完を見て
心はなやぎいやしとなりぬ

島崎 久代

島遊び浮かれ踊るやあてやかに
古式ゆかしく八月踊り

井澤紀美子

ひとり寝の窓に吹き込む虎落笛
凍る耳にはなおも寂しき

徳 成寿

病み病みを癒し賜いし医師帰
り行き常なき涙我胸突き上ぐ

中澤 ヒデ

この平和神国日本の軍信じ
征きて還らぬ命の賜物

美代 イシ

戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん

大喜匠太郎 孝紀 志戸桶

直 駿喜 和喜 羽里

いつまでも

お幸せに

氏名 住所

大山博久 東京都

宗村ひとみ 池治

池田 良樹 川 嶺

西野ゆう美 上 嘉鉄

松本雄次 上 嘉鉄

上園美沙 志戸桶

ごめい福を

お祈りします

住所 氏名 年齢

坂 嶺 林 重吉 93才

坂 嶺 住岡ミヤ 88才

佐手久 顧島ヤス 90才

志戸桶 大崎オメト 93才

池 治 小林久雄 80才

川 嶺 坂田武彦 87才

浦 原 吉山元二 79才

小野津 備 明彦 55才

上嘉鉄 安藤カメ 81才

早 町 星野幸子 74才

小野津 吉原勇造 65才

社協だより

■香典返し(敬称略)

坂 嶺 林 信弘

池 治 小林 孝子

志戸桶 大崎 三千広

東京在住 坂 田 雅人

川嶺出身 佐久田 昭明

小野津 備 佐枝子

■寄付金(敬称略)

喜界二九会全国同窓会ふるさと大会(代表 松村秀一郎)会員一同

上嘉鉄 屋 妙子

喜界町の推計人口

(平成22年12月1日現在)

世帯数	3,725戸	(1)
人口	8,090人	(△6)
男	3,889人	(△3)
女	4,201人	(△3)
()は前月比		

素人工事をしていませんか?



電気工事は 電気工事店へ

家庭や商店などの電気工事は、電気工事士の資格を持った人でなければいけないことになっています。素人が工事をする、感電や電気火災が発生することにもなり非常に危険です。安全で便利に使用できる屋内配線は、電気工事店に依頼してください。

九州電気保安協会

12月末は
固定資産税
の納期限です。
3期分
納期限内に必ず納めましょう。

今月の ウヤフジ訓

他人が (ひとが)

一歩踏み (ひとが)

自分や (自分は)

二歩踏み (二歩進め)

解説

勤め人などほとんではない時代、人々の暮らし向きは、畑や海での仕事ぶりによる収穫量・漁獲量に左右された。「努力しているのは自分だけと思うな。楽な暮らしをしたければ、人一倍の努力をせよ」とウヤフジが伝える、今の世にも通じる金言。

ハリツルマサキ(針蔓柱) 11-12月

東 アジア亜熱帯域からフィリピンが原産でニシキギ科ハリツルマサキ属の半ツル性常緑低木。隆起珊瑚礁からなる石灰岩上に生育するため、喜界島は格好の自生地である。自然界では海岸のサンゴ岩に這っているが、沖縄や島では盆栽として好まれ、鉢植えでは幹は直立させられている。花の直径は4~5ミリ程度。写真のように真っ赤なハート形の果実を付けるため、「ハートが実る木」として園芸店でも売られる。本町指定の自然保護植物17種のひとつ。シマユミタでは「マッコウ」。花ことばは「小さな幸せ」。



ハートの実

ムラサキゴテン(紫御殿)

× キシコ原産でツククサ科トラデスカンティア属の多肉性多年草。花はもちろん、葉や茎まで紫に染まっている。寒さに弱く、乾燥した日当たりの良い環境を好む。内地では6~9月が開花期だが、島では9~11月に薄紫色の可憐な花をたくさん付け、その花は朝に咲いて昼過ぎにはしぼむ。花ことばは「優しい愛情」「変わらぬ愛」。



ヤマヒヨドリバナ(山鷓花)

西 日本から南西諸島に広く分布するキク科フジバカマ属の多年草。潮風を嫌うのか、県道沿いなどの低地にはなく、百之台周辺でよく見られる。花ことばは不明。

この花をアサギマダラがよく吸蜜するが、オスにとっては「ピロリジジンアルカロイド」という、メスを誘う性フェロモンを体内で組成する物質が含まれるため、特に重要な花といわれる。したがって、この花がなければ、1,000 km以上も旅をするアサギマダラの中継地・越冬地とはならないとされる。撮影時には、アサギマダラ以外にも多くのチョウが蜜を吸っていた。



お気軽・お手軽

焼鳥あいちゃん ☎65-3299

夕焼け **ゴゴ** おみやげセール

夕方 5:00 ~ 6:30 受付中!

湾471-8 焼鳥あいちゃん 代表:相澤克典

おみやげセール(お持ち帰り)

焼鳥パック(タレ焼・塩焼5本入り)
ちゃんぽん・皿うどんパック

オール550円